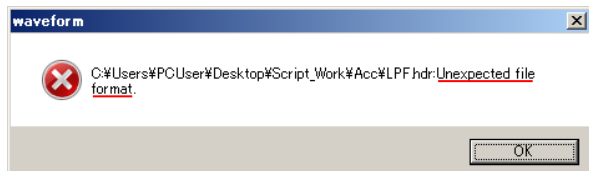


Unexpected file format

概要

本アプリケーションノートでは、波形表示プログラム PcWaveForm で、DR-600 や SR-200 など当社のレコーダで収録したデータファイルを開こうとするときに、<Unexpected file format>という下記のメッセージボックスが表示された場合や、収録途中で PC が停止などして hdr ファイルが作成されなかった場合（dat ファイルのみ作成された場合）の対処方法についてご説明申し上げます。

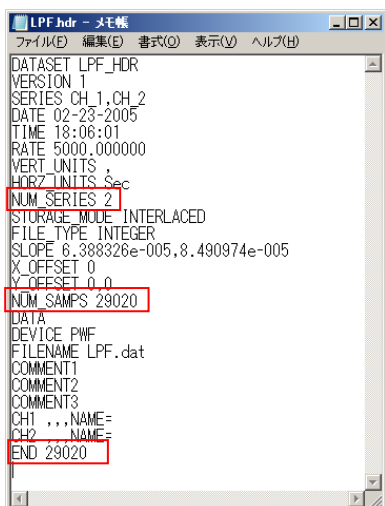
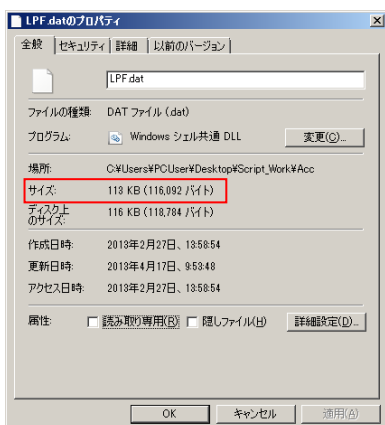


対処方法

A. <Unexpected file format>メッセージボックスが表示される場合

PcWaveForm の [File] -> [Open...] 操作にて、収録データファイルを開こうとする時、<Unexpected file format>のメッセージボックスを表示した場合には次の操作を行って下さい。

[OK]をクリックしてメッセージボックスを閉じます。



- ① 開こうとするデータファイル(*.hdr および*.dat)を、どこか別のフォルダにコピーします。オリジナルのデータファイルは保管し、コピーしたファイルで作業を行うためです。
- ② エクスプローラー（Windows Explorer）でコピー先のフォルダを開きます。
- ③ コピーした*.dat ファイルにマウスカーソルを置き、右マウスクリック->[プロパティ(R)]をクリックします。
- ④ 左のプロパティダイアログを表示します。
- ⑤ <全般>タブの中の、<サイズ>に表示している「バイト」数の数値をメモにとります。左の例では、116,092(バイト)となります。
- ⑥ 次に、Windows の「メモ帳」やテキストエディタで、コピーした*.hdr ファイルを開きます。
- ⑦ 表示された内容より、<NUM_SERIES>の後の数値をメモに取ります。左の例の場合、<NUM_SERIES 2>ですから「2」となります。
- ⑧ 上でメモしたデータサイズを NUM SEIRES の数値 × 2(1ch データを 2 バイトで構成するため)で割り算します。この例では、116,092 (サイズ) ÷ (2(NUM SERIES) × 2(1ch のバイト数)) = 29023 となります。
- ⑨ *.hdr ファイルの、<NUM_SAMPS>と<END>の数値を上での計算結果で書き換え、上書き保存してメモ帳(またはテキストエディタ)を閉じます。この例では、「29020」を「29023」で書き換えます。

⑩

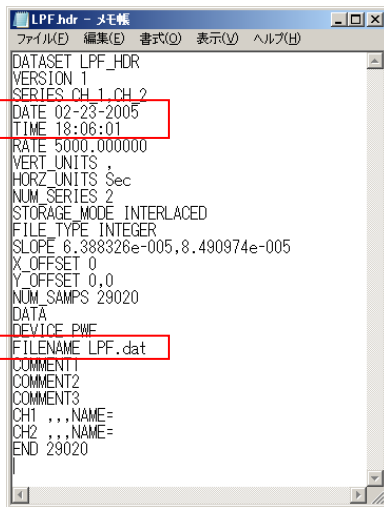
以上で、ファイルの修復は終了しました。

なお、この現象は、DR600CTL/SR200CTL などのコントロールプログラムで PC HDD 収録を行った際、ファイルの終了処理のタイミングで、ヘッダファイルに正規でないサンプリング点数を書き込んでしまったときに発生します。

B.HDR ファイルが作成されなかった (DAT ファイルのみ作成された) 場合

収録中に PC が停止した等で、dat ファイルは存在するが、hdr ファイルがない場合は以下の操作を行ってください。

- ① dat ファイルのみ作成された収録条件と同じ条件で収録を行います。hdr ファイル作成が目的のため短時間で構いません。
- ② 作成された hdr を復元したい dat ファイルと同じフォルダにコピーします。
コピーしたファイルを右クリックし、ファイル名の変更を選択します。
ファイル名が編集できる状態になったらファイル名を復元したい dat ファイルと同じ名前に変更します。
- ③ A の③～⑨の数値書き換えと同じ操作を行います。
- ④ FILENAME の XXX.dat を復元したい dat ファイルと同じ名前に変更します。
- ⑤ 収録開始時間を変更します。
DATE、TIME が①で作成した hdr ファイルの作成時間のため、復元したい dat ファイルを収録開始した時間に設定します。
DATE 行は MM-DD-YYYY、TIME は hh:mm:ss の形式です。



改定履歴

2022/8/15	Ver.1.02	hdr ファイル作成されなかった場合の修正方法追記
2020/6/18	Ver.1.01	書式修正
2014/1/1	Ver.1.00	初版